

蘭州近況その5 1 (2016年11月)



榆中の田園、冬麦なのだろうか。

榆中の杏も冬支度

穏やかな初冬

今秋が寒かったせいか、あまり凍えずに冬を迎えました。晴天が続き、降雪も10月に降ったきりで、あれ以来ありません。まだ秋かと思うほどですが、それでも夜半は -5°C 前後まで気温が下がり、キャンパスの木々もすっかり葉を落としてしまいました。

今学期は8月29日と早く始まったせいか、18週は年内になり、新年の前に授業が終わりそうです。19週で期末試験を行い、日本の成人式の連休前には蘭州を発つことが出来そうです。例年のように旅行をしながら帰京しようと思います。今年の1月に海南島へ行きましたが、今回も暖かい所で、香港へ行ってみようと思います。IBM時代、会社のコンベンションがよく香港で行われましたが、なぜか参加するチャンスにめぐまれず、まだ香港へ行ったことがありません。最近何かと話題になる香港を見てみたいと思います。

蘭州のスイーツ (軽食)

最近健康のために酒を控えるようにしています。そのせいか、今まであまり関心の無かった蘭州のスイーツ (軽食) に目が行くようになりました。西関十字という蘭州で一番の繁華街の中ほどに蘭州軽食の老舗「杜記甜食」を見つけました。メニューは全て軽食で食事の料理はありません。1品4~10元ほどの手頃な値段で蘭州のスイーツを全て取り揃えています。「灰豆、甜醅、高垣酿皮、油炒粉、热冬果、晶糕、牛奶鸡蛋醪糟」など蘭州の伝統的なスイーツが並びます。灰豆は黒いエンドウ豆を煮こんで、好みで砂糖をかけて食べます。ちょっと見るとお汁粉のような感じです。甜醅は裸麦にあっさりした甘さのシロップをかけたものです。高垣りゃん皮は小麦を練ってコンニャクのようにした太い



老舗の蘭州スイーツ屋「杜記甜食」



灰豆、牛肉餡餅、甜醅

うどんに唐辛子とお酢のタレをかけたものです。油炒粉はそのコンニャクを角切りにして炒め、同じように唐辛子とお酢のタレをかけます。学生たちには人気がありますが、私には辛くて、とても全部は食べられません。熱冬果は梨に甘いシロップをかけて煮込んだもので、ほんのり甘く、温まります。晶糕はもち米にナツメを入れて炊いたもので砂糖をかけて食べます。牛乳卵醪糟は牛乳に卵や蜂蜜や雑穀を入れて煮込んだホットミルクです。

蘭州は中国の西北地域にあり、米ではなく小麦文化圏に入ります。従って、最近まで米は無く、饅頭や小麦麺が主食でした。料理やこうしたスイーツなどは西安の影響をだいぶ受けているようですが、牛肉ラーメンのように蘭州独自の味覚もあります。欧米系のスイーツにくらべあっさりした甘さで、気に入っています。



熱冬果（梨を煮込む）



油炒粉（辛くて残す）

中医（漢方）へ通う

この春の終わりごろから胃の調子が悪く、胃もたれが酷くて困りました。夏

に日本で診断を受けたところ、慢性萎縮性胃炎と言われました。時間がなく、薬ももらわずに赴任し、暴飲暴食を避けて自然治癒に頼っていました。しかし、せっかく中国にいるので思い切って中医（漢方）医院へ行ってみようと思いました。日本語科のL先生に評判の中医さんを紹介してもらい、連れて行ってもらいました。

医院は蘭州市の城関区にあり、中医、針灸と看板にありました。先生は頼もしそうな中年の男性で、診察は順に左腕、右腕の脈をとり、舌の様子をみて、薬を処方してくれました。私が通えれば針や灸での治療だったので、通えないので、まず生薬を5日分もらいました。そして、胃を冷やす、刺激がある食物が禁止されました。生薬は医院で煎じてくれましたが、1日分が大きなコップ二つほどになり、食後に服用します。色は茶色で、牛乳にオレンジを混ぜたような妙な味がしました。始めは量が多くてたいへんでしたが、慣れると何とか飲めるようになりました。医院へは毎週土曜日3回通いました。胃の調子は生薬が効いたのか、食事制限が効いたのかよく分かりませんが、だいぶ楽になりました。先生に相談すると、治療はこれで終わるが、くれぐれも冷やしたり、刺激のあるものを食べたりせず、胃を大事にするように言われました。そんなわけで、現在も暴飲暴食を避け、飲酒も控えめにしています。

西洋医学は疾患を除去するのに対して、中医（漢方）医学は身体全体の体質を改善するように治療していくそうです。胃をいたわることにも大分慣れましたが、先生に冷たいビールは胃を冷やすと言われてしまいました。



純面筋（麩）、晶糕、八宝醪糟のスイーツ



中医の生薬、これ2杯を食後に飲む



杜記甜食のメニュー、全部蘭州の snacks。

以上